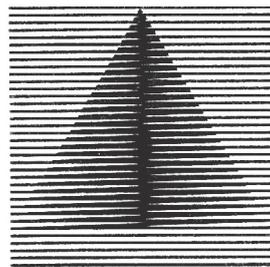


教育実践総合センター

研 究 紀 要

第 58 号



2024年

山 口 大 学 教 育 学 部
附 属 教 育 実 践 総 合 セ ン タ ー

目 次

学部附属共同研究

小学校低学年の運動有能感を向上させる鬼ごっこを用いた体育授業の実践 青山 翔・木田 雅大・末弘 成孝 ……	1
共創する力を育てる小学校国語科学習指導 岸本憲一良・五十部大暁・池永亜由美・大野 真弘・大塚 祐亮・市川景一郎 ……	7
「問う力」で深い学びを創り出す国語授業の構築 坂東 智子・貞安 菜央・澄川 佳穂 ……	19
持続可能な体力向上の取り組み 齊藤 雅記・青木 健・青山 翔・上田 渉大・戎 健介 ……	31
技術・家庭科における幼児とのふれあい体験学習の実践的研究 ーものづくりと「幼児と中学生」との双方向のかかわりに着目してー 藤井 志保・堤 健人・河原 咲子・徳光 慧・尾川 真子・瓦屋 大志・川崎 徳子 阿濱 茂樹・森岡 弘・西尾幸一郎・森永 八江・星野 裕之 ……	37
協働的な振り返り活動を通じた英語コミュニケーション能力育成の取り組み 梅本 陽翼・山信 和也・玉村恵理子・中野 光彦 高橋 俊章・藤本 幸伸・猫田 和明 ……	47
音楽科における「深い学び」とwell-beingに関する研究 2 ー小中学生の尺度モデル構成・調査結果の分析を通してー 高橋 雅子・沖林 洋平・石田 千陽・白地めぐみ・藤原 由佳・原田 美穂 ……	57
教員は道徳科の授業にどのようなイメージをもっているか (3) 沖林 洋平・池永真依子・中川 穂・藤永 啓吾 ……	67
教員の教育相談の資質修得過程と教育相談の具体的工夫 春日 由美・長谷 和久・阿濱 茂樹・池永亜由美 大園 悦子・河原 咲子・来島 芳子・宮田帆乃香 ……	77
小中学校の関連を意識した新しい理科学習教材の開発と授業実践研究Ⅲ ～小学校と中学校における「物質の溶解概念」の調査研究～ 栗田 克弘・津守 成思・竹田 崇志・秋山 広之・田中 聡・柴田 勝・重松 宏武 ……	87
生活科・総合的な学習の時間の取組の充実を図るための附属学校教員と大学教員の 協働体制の構築 (その3) 藤上 真弓・徳永 真衣・大塚 進真・志賀 直美 久保田大貴・浦田 敏明・佐伯 英人 ……	97

教師教育研究

- 教育学部学生による「スマートフォンを使った疑似観察」と「疑似観察の結果をもとに調べるモデル実験」に関する一考察
ー小学校の第6学年「月と太陽」においてー
佐伯 英人 …… 107
- 総合的な学習の時間における「協働」を見取る視点の活用
～「見極める・創造する」姿を生み出す発問に着目して～
藤上 真弓 …… 115

学校教育臨床研究

- 教員の離職意識とその関連要因に関する一研究
春日 由美・篠崎 由実・長谷 和久・佐竹 圭介 …… 125
- WISC-Vからわかる子ども達の心の世界と葛藤
現在社会を主体的に生きるために
木谷 秀勝・櫻井 凜 …… 133

教育実践研究

- ICTを使った数学の授業に関する一考察（その5）
ー中学校の第2学年「C 関数」においてー
神山 幸華・上森 和彦・吉原 範征・佐伯 英人 …… 143
- 小学校の算数の授業に関する一考察
ー第4学年「同分母の分数の加法，減法」においてー
林 絵梨・佐伯 英人 …… 153
- 小学校理科における遠隔合同授業に関する一考察（その2）
ー第4学年「天気の様子」においてー
津守 成思・森 大樹・瓦屋 大志・和泉 研二・佐伯 英人 …… 163
- ICTを使った理科の授業（その6）
ー小学校の第5学年「物の溶け方」においてー
津守 成思・加門 直斗・岡村 吉永・佐伯 英人 …… 169
- 幼稚園における学級規模ポジティブ行動支援の実践
ー幼児の片付け行動に及ぼす効果ー
宮木 秀雄・出羽 佳枝 …… 179

学校の魅力を最大限に引き出す教材開発 令和5年度の教育実践を通して	大丸奈緒美 …… 185
インクルーシブ教育システム推進のための特別支援学校のセンター的機能の充実 山口県内総合支援学校の取組状況と課題	田浦 裕宣・柳澤亜希子 …… 195
地域との連携・協働の文化を生み出す学校づくり —子供・教職員と地域を有機的に結び付ける取組を通して—	渡邊 隆士・松田 靖 …… 207
SOAP記録を活用した園内研修による保育者の変容	中島 寿子 …… 217
中学校知的障害特別支援学級第一学年に在籍する生徒への行動コンサルテーションを通じた 読書活動への支援	藤本 加織・須藤 邦彦 …… 227
就学時期のパワーハラスメント概念の検討	佐竹 圭介 …… 235

Bulletin of the Integrated Center for Education Research and Training
2024.10
CONTENTS

Undergraduate Affiliated Joint Research

Implementation of physical education classes using tag to improve the sense of motor competence in lower grades of elementary school	AOYAMA Sho, KIDA Masahiro, SUEHIRO Noritaka ······ 1
Elementary school Japanese learning guidance to nurture the ability to co-create	KISHIMOTO Kenichiro, ISOBE Hiroaki, IKENAGA Ayumi ONO Masahiro, OTSUKA Yusuke, ICHIKAWA Keiichiro ······ 7
Building Japanese language classes that create deep learning through the power to ask questions	BANDO Tomoko, SADAYASU Nao, SUMIKAWA Kaho ······ 19
Sustainable programs for improving physical fitness levels in junior high school	SAITO Masaki, AOKI Ken, AOYAMA Sho, UEDA Takahiro, EBISU Kensuke ······ 31
A Practical Study of Experiential Learning with Young Children in Junior High School Technology and Home Economics Education: Focusing on the Interactive Involvement between Young Children and Junior High School Students in Manufacturing	FUJII Shiho, TSUTSUMI Kento, KAWAHARA Sakiko, TOKUMITSU Satoshi, OGAWA Mako KAWARAYA Hiroshi, KAWASAKI Tokuko, AHAMA Shigeki, MORIOKA Hiroshi NISHIO Koichiro, MORINAGA Yae, HOSHINO Hiroshi ······ 37
Fostering English Communication Skills Through Collaborative Reflective Activities	UMEMOTO Yosuke, YAMASHINA Kazuya, TAMAMURA Eriko, NAKANO Mitsuhiko TAKAHASHI Toshiaki, FUJIMOTO Yukinobu, NEKODA Kazuaki ······ 47
Research on “Deep Learning” and “well-being” of Music Education 2: Composition of Scale Models and Analysis of Survey Results	TAKAHASHI Masako, OKIBAYASHI Yohei, ISHIDA Chiharu SHIRAJI Megumi, FUJIWARA Yuka, HARADA Miho ······ 57
How do teachers think about teaching moral education? (3)	OKIBAYASHI Yohei, IKENAGA Maiko, NAKAGAWA Minori, FUJINAGA Keigo ······ 67
Teachers’ process of acquiring the qualities of educational consultation and specific innovations in educational consultation	KASUGA Yumi, NAGAYA Kazuhisa, AHAMA Shigeki, IKENAGA Ayumi OZONO Etsuko, KAWAHARA Sakiko, KIJIMA Yoshiko, MIYATA Honoka ······ 77

The Research and Development of Teaching Materials in Elementary and Junior high school Science Lessons III:
 Student's Understanding of Dissolving Substances in Water
 KURITA Katsuhiko, TSUMORI Narushi, TAKEDA Takashi, AKIYAMA Hiroyuki
 TANAKA Satoshi, SHIBATA Masaru, SHIGEMATSU Hirotake 87

A Consideration for Collaboration system Among two Attached Elementary Schools and the Faculty of Education (III):
 To Improve the Quality of Living Environment Studies and the Period for Integrated Studies
 FUJIKAMI Mayumi, TOKUNAGA Mai, OTSUKA Yukimasa, SHIGA Naomi
 KUBOTA Daiki, URATA Toshiaki, SAIKI Hideto 97

Teacher Education Research

A Study on "Simulated Observation Using a Mobile Phone" and "Model Experiment Based on Observation"
 by University Students in the Faculty of Education:
 Regarding "The moon and the sun" in the 6th grade of elementary school
 SAIKI Hideto 107

The Use of Perspectives that Capture the "Collaboration" in the Period for Integrated Studies:
 Focus on the Questioning to Creating a figure of "Discernment/Creation"
 FUJIKAMI Mayumi 115

School Education Clinical Research

A Study on Teachers' Attitude toward Job Turnover and Its Related Factors
 KASUGA Yumi, SHINOZAKI Yumi, NAGAYA Kazuhisa, SATAKE Keisuke 125

Inner World and Conflict of Children though WISC-V: significance of individuality at modern society
 KIYA Hidekatsu, SAKURAI Rin 133

Educational Practice Research

A Study on an ICT-Assisted Mathematics Class (V):
 A Case study of "C. Functions" in the 2nd grade of Lower Secondary School
 KAMIYAMA Sachika, UWAMORI Kazuhiko, YOSHIHARA Noriyuki, SAIKI Hideto 143

A Study on Arithmetic Classes of Elementary School:
 A Case study of "Addition and subtraction of fractions with the same denominators" in the 4th grade
 HAYASHI Eri, SAIKI Hideto 153

A Study on A Remote Joint Class in Science at Elementary Schools (II):
 A Case study of "Weather conditions" in the 4th grade
 TSUMORI Narushi, MORI Daiki, KAWARAYA Hiroshi, WAIZUMI Kenji, SAIKI Hideto 163

Science Classes Using ICT (Part6): A Case study of “Dissolution of substances” in the 5th grade of Elementary School TSUMORI Narushi, KAMON Naoto, OKAMURA Yoshihisa, SAIKI Hideto	169
Class-wide Positive Behavior Support in Kindergarten: Effects on Children’s Tidying Up MIYAKI Hideo, DEWA Kae	179
Teaching material development that maximizes the attractiveness of the school: Through educational practice in 2023 DAIMARU Naomi	185
Enhancement of the Central Functions of Special Support Schools for the Promotion of Inclusive Education Systems: The Situation and Issues of Schools in Yamaguchi Prefecture TAURA Hironobu, YANAGISAWA Akiko	195
Creating schools that create a culture of cooperation and collaboration with the local community: Through initiatives that organically connect children, teachers, staff, and the community WATANABE Takashi, MATSUDA Yasushi	207
Perspective Shift of Early Childhood Educators through In-school Training Using SOAP Records NAKASHIMA Hisako	217
Supporting Reading Activities through Behavioral Consultation for a First Grade Student in Special Support Classes for Students with Intellectual Disabilities at Junior High School FUZIMOTO Kaori, SUTO Kunihiko	227
Examining the Concept of Power Harassment in the Context of the School Period SATAKE Keisuke	235

教育実践総合センター研究紀要 編集規程

1. 研究紀要の刊行

- (1) 山口大学教育学部附属教育実践総合センター（以下「センター」と記す）は、研究紀要を原則として年度につき2回刊行する。
- (2) 研究紀要の名称は「山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要」とする。
- (3) 研究紀要は、教育実践に関する未公開の論文で構成し、下半期の刊行においては当該年度の「センター」の活動内容を報告する年報を加える。

2. 編集委員会

- (1) 研究紀要の編集は、編集委員会を設置して行う。
- (2) 編集委員会は、山口大学教育学部附属教育実践総合センター運営委員会規則第3条第1号、同第2号、同第3号の委員をもって構成し、センター長を委員長とする。
- (3) 編集委員会は、原稿の募集、掲載論文の採択、研究紀要の構成、研究紀要の体裁等に係る判断を行う。
- (4) 編集委員会は、掲載論文の採択に係る審査を行うにあたり、投稿者に対し、投稿原稿の一部修正を求めることができる。

3. 投稿資格

- (1) 研究紀要に投稿することができる者は、下記の各項の該当者とする。ただし、第3項および第4項の場合については、第1項または第2項の者を共著者とすることを条件とする。
 - ① 山口大学教育学部および附属学校園の教員
 - ② センターの客員教授、客員准教授、研究員
 - ③ 山口大学大学院教育学研究科の大学院生
 - ④ 編集委員会が特に認めた者
- (2) 研究紀要1号あたりの投稿数は、筆頭者としては1名2論文までとする。

4. 経費負担

- (1) 研究紀要の発行に係る経費は、センターの運営費をもって充てる。ただし、執筆要項に示すページ数を越える場合、図版、写真等の掲載で別に経費を要する場合は、執筆者の実費負担とする。
- (2) 別刷は、執筆者の実費負担とする。

5. 著作権

- (1) 研究紀要に掲載された論文の複製権、公衆送信権は、山口大学教育学部に帰属する。ただし執筆者（共著の場合は筆頭者）の申し出により、公衆送信権を行使しないことができる。
- (2) 前号の規定は、執筆者自身による複製、公衆送信等を妨げない。
- (3) 論文執筆における他の著作物との関係への対処は、執筆者が責任を負う。執筆者は著作権その他倫理規範に反する問題が生じないように十分に配慮しなければならない。

6. その他

- (1) 各論文の投稿原稿は、別に定める執筆要項にしたがって作成するものとする。
- (2) 執筆者による校正は、初稿までとする。
- (3) 研究紀要の刊行に関する事務は、教育学部事務局において処理する。

教育実践総合センター研究紀要 執筆要項

1. 原稿は、原則として文書作成PCソフトで作成し、印字した原稿に文書ファイルを保存した記録メディア（CD等）を付けて提出する。
2. 原稿の基本書式は、A4サイズで横書き、用紙余白は上下左右すべて20mm、MS明朝体10ポイントで横48字×縦48行とする。
3. 原稿の枚数は、本文、標題、要旨、図版、注等すべてを含め、原則10ページまでとする。
4. 原稿の記載順序は、最初のページに、題目、執筆者名、英文題目、英文執筆者名、キーワード（5つ以内）を記載し、次に本文、その後に注・参考文献とする。ABSTRACTを記述する場合は、原稿の最末尾とする。
5. 本文の見出しは、以下の階層で表すものとする。

階層1	1.	2.	3.	(11ポイント MSゴシック体 上下の行をそれぞれ1行あけ)
階層2	1-1	1-2	1-3	(10ポイント MSゴシック体 上の行のみ1行あけ)
階層3	1-1-1	1-1-2		(10ポイント MSゴシック体)
6. 注・参考文献は本文の最後一括して記載する。その記述様式は各論文の関連する専門分野の様式に従うものとし、著者名、文献タイトル、発行所、発行年を必ず含むものとする。
7. 図・表・写真等は本文の内容と関連したページに掲載し、通し番号と表題を示す。提出にあたってはそのまま製版できるように作成するものとする。
8. 他の著作物の図表や文章等から、引用の範囲を超える転載を行う場合は、著者自身の責任で書面による転載許諾を得るものとする。
9. 人物の顔で個人が特定可能な写真を掲載する場合は、著者自身の責任で書面により関係者の掲載許諾を得るものとする。
10. その他
 - (1)各号の原稿募集、原稿締切は、編集委員会の決定するところによる。
 - (2)原稿を英文で作成する場合も、この要項を準用することを基本とする。

附属教育実践総合センター
研究紀要編集委員会

委員長 静屋 智（センター長）
委員 鷹岡 亮 霜川正幸 大丸奈緒美 田中亜矢巳
事務員 久保田尚子

著作権について

1. 本紀要の著作権は電子化を含めて、山口大学教育学部が担当する。
2. 各論文の利用は非営利目的に限る。利用にあたっては以下の点を守らねばならない。
 - I 引用する場合には著作者及び出典を明示すること。
 - II 著作権所有者（著作者）の許可なく標題及び内容を改変しないこと。
 - III その他著作権法の規定を遵守すること。

2024年10月31日 発行

山口大学教育学部附属教育実践総合センター
研究紀要 第58号

編集者 山口大学教育学部
附属教育実践総合センター研究紀要編集委員会
発行者 〒753-8513 山口市大字吉田1677-1
山口大学教育学部附属教育実践総合センター